

8 「書くために話し合う」学習活動の充実を図りましょう

教科書によっては、学習目標や学習課題の具体的な設定が、学習者に委ねられる単元があります。例えば、東京書籍の「わたしの国語学習」(各学年)がそれに該当します。教師と生徒が相談しながら学習材を選択し、学習目標や学習課題を設定して学習計画を立てるようになっていきます。ユニークで大胆な単元といえるでしょう。このような単元では、学習活動を生徒に任せる前に、学習計画づくりを綿密に行うなどして、どんな力を身に付けるために、何をどう学習するのか、内容や手順をはっきりさせるようにしたいものです。とりわけ、「書くこと」を学習過程(特に話し合いの場面)に効果的に取り入れることで、生徒の思考を促すとともに、学習のまとめ(発表)が充実したものになるようにしたいものです。

「わたしの国語学習」(東京書籍1年)の学習課題例

*学習計画例(プリント)

*学習課題 「そこに僕はいた」「さんちき」「少年の日の思い出」「カメレオン」の中からそれぞれに作品を選んで、登場人物に手紙形式で感想を書いて読み合おう。

*学習材と手順 共通の学習材「そこに僕はいた」(4時間)
選択の学習材「少年の日の思い出」「さんちき」「カメレオン」(3時間)

* どちらの場合も、次の手順で学習する。

登場人物に手紙形式で感想を書くために話し合う(グループ)

書く(個人) ・人物の心情などをとらえた表現を引用して書く

読み合う(グループ)

発表会(グループ発表1時間、全体発表1時間)

書くことが苦手な生徒には、できるだけ具体的な書き方を指示する必要があります。例えば、ヒントカードなどを用意しておき、それを参考にして書かせるようにするのも一案です。また、実際に記述させる前に、グループで感想を自由に話し合う学習活動を取り入れると、イメージがふくらんで、個人での「書くこと」が円滑に進むことが期待できます。次に示すのは、そのために考案した学習課題の説明例です。

説明例

(単元のはじめの説明とは別に、共通の学習材「そこに僕はいた」の全文を黙読または音読し、あらすじを確認するなどしたうえで、具体的に説明する場合の例)

これから行う学習は、「僕」に手紙形式で感想を書く、というものです。これは、「まとまった字数の感想を書くことができる」という国語の力を身に付けるための学習です。また、「そこに僕はいた」で身に付けることになる力を生かして、そのあとに、選択の学習材(「少年の日の思い出」「さんちき」「カメレオン」)を用意していますので、「感想を書く力」を一層発揮してほしいと思います。

では、「そこに僕はいた」での感想の書き方について、具体的に説明しましょう。「P S」に「今、彼はどこの街を歩いているのだろう。」と書いてありましたね。あれから四年たったと仮定してみましょう。二人とも、中学校1年生くらいです。みなさんと同じ年ごろですね。二人がああ頃の自分たちをなつかしく思い出して手紙を書きたくなったとします。もし、みなさんが二人のうちのどちらかだったら、もう一人に、どんな手紙を書くでしょうか……。そこで、「僕」または「あーちゃん」になりきって相手に手紙を書いてみましょう。

先生はその手紙を読んで、みなさんがこの教材から何を理解したかを判断します。みなさん同士でも読み合う時間を設けます。書くに当たっては条件が一つだけあります。それは、印象に残った会話や行動描写をあわせて三つ引用して手紙を書くこと。どこをどう引用するかが工夫のしどころになりますよ。

実際に手紙を書くのは、次の時間です。今日は、そのための準備をしましょう。まず20分程度の時間をとりますので、各自、もう一度黙読をしながら、引用のための表現を探しましょう。その途中で、グループの人と小さな声で、どんな表現に線を引いたか、確認し合ってもいいです。

後半の20分で、手紙を書くために、話し合いをしましょう。そのとき、自分はどんなところに線を引いたか、線を引いた表現からどんな気持ちを読み取ったのかなど、お互いの意見を交換しましょう。話し合いでは、ノートにメモをとるとよいでしょう。きっと、次の時間に手紙を書くとき、相手の気持ちを踏まえて書くうえでの参考になりますよ。

ワンステップアップ

感想を書いたり話したりする学習では、「表現を引用しながら感想を書いたり話したりする」ことが大切です。とりわけ、「感想を話し合う」場合においては、「どのような表現をもとにそう思ったのか」を述べ合うことで、話し合いの方向を確認したり、互いの考えや思いの理解を深めることができます。

平成 18 年度 研究委員会（中学校・国語科）

総 括	栃木県総合教育センター		所 長	五味田謙一
研究委員長	同	研究調査部	部 長	江部 信夫
研究副委員長	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
委 員	上都賀教育事務所		指導主事	近藤 秀人
同	那須教育事務所		指導主事	丑越 薫
同	芳賀教育事務所		指導主事	齋藤 正幸
同	学校教育課		副 主 幹	中島 聖巳
同	栃木県総合教育センター	研 修 部	指導主事	鹿嶋 実
同	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
同	同	研究調査部	指導主事	吉澤 正光
事 務 局	栃木県総合教育センター	研究調査部	副 主 幹	矢口 真一
同	同	研究調査部	指導主事	小川 順子

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン
 確かな学力を育むために
 【中学校・国語科】

発 行 平成 19 年 1 月
 栃木県総合教育センター 研究調査部
 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070
 TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303
 URL <http://www.tochigi-c.ed.jp>

栃木の子どもの
学力向上を図る
学習指導プラン
【中・国語科】



いきいき栃木っ子3あい運動
- 学びあい 喜びあい はげましあおう -